

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当

昭和57年9月29日 第24報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece clathrata*</i>	100		
(藍) <i>Chroococcus limneticus*</i>	20		
(藍) <i>Anabaena macrospora var. crassa*</i>	80		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	2240	◎	○
(珪) <i>Melosira italica</i>	80		
(珪) <i>Stephanodiscus carconensis</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	200		
(緑) <i>Planktosphaeria gelatinosa</i>	240		
(緑) <i>Oocystis</i> sp.	40		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	1280	○	
(緑) <i>Closterium aciculare var. subpronum</i>	60		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	180		◎
(緑) <i>Staurastrum sebaldi var. productum</i>	20		
(藍) 藍藻綱	200	4.4	4.8
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	2360	51.5	28.4
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	200	4.4	2.7
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	1820	39.7	64.1
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	4580	総体積	1.24E+07
種類数	14	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Melosira granulata</i>	2240

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	1280

植物プランクトン第1優占種



Melosira granulata
(メロシラグラヌラータ)

珪藻綱

細胞は円筒形で、糸状の群体を形成する。群体の両端に顕著な長い剛毛を1~3本有する。

植物プランクトン第2優占種



Pediastrum biwae
(ピワクンショウモ)

緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。